

特集 4

“YCU横浜早期膵癌診断プロジェクト2023”から“横浜市すい臓がん早期診断プロジェクト”へ



くばた けんすけ
窪田 賢輔

横浜市立大学附属病院 内視鏡センター 教授／
横浜市立大学大学院 国際マネジメント研究科

横浜市すい臓がん早期診断プロジェクト メンバー

加藤 弘陸

横浜市立大学大学院 国際マネジメント
研究科 准教授

根本 裕太郎

横浜市立大学大学院 国際マネジメント
研究科 准教授

関野 雄典

横浜労災病院 消化器内科 部長

三輪 治夫

横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター 講師

杉森 一哉

済生会横浜市南部病院 消化器内科
主任部長

原 広司

横浜市立大学大学院 国際マネジメント
研究科 准教授

西山 亮

済生会横浜市東部病院 外科部長

鈴木 雅人

横浜医療センター 消化器内科 医長

長濱 正亜

昭和大学藤が丘病院 消化器内科 教授

後藤 隆久

横浜市立大学大学院 医学研究科 麻酔科 教授／
横浜市立大学 病院経営プログラム開発・責任者

要旨

YCU横浜早期膵癌診断プロジェクト2023が、2023年1月より横浜市立大学附属病院で行われている。一方、横浜市におけるプロジェクトは、2017年から済生会横浜市東部病院で始まり、現在7病院に拡大・展開中である。2023年7月には、これら拠点病院により、患者紹介の統一された新基準が作成された。前向き研究として、2024年度から2033年度までの10年間で、プロジェクト導入による横浜市の膵癌診療に及ぼす医療・経済効果を5年ごとに評価する。その結果から、プロジェクトの実効性・有効性を診療・研究・経営の多側面から検証し、それを基に医療政策への提言を行い、対策型検診への移行を促し、医療を市民に還元することが目的である。

キーワード

尾道方式, YCU横浜早期膵癌診断プロジェクト2023, 横浜市すい臓がん早期診断プロジェクト

語句解説

対特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

最新
トピックス

ホット・
World News

THE
FOCUS

徒然なる
まきに。